

II 地震対策

1 地震に備える

被害を最小限にするためには、日頃から一人ひとりが地震に備え、いざというときに落ち着いて行動できるようにしておくことが大切です。地震に備えて、以下の10項目について確認しましょう。

地震に対する10の備え

身の安全の備え

1. 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。
- けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。



区の支援

- 家具転倒防止器具の購入および取付費用の助成
- 家具転倒防止器具の取付支援

→詳細は36ページへ

2. けがの防止対策をしておこう

- 散乱物でけがをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。



3. 家屋や塀の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



区の支援

- 住宅・建築物耐震化支援事業

→詳細は38ページへ

初動対応の備え

4. 消火の備えをしておこう

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水の汲み置きをしておく。



区の支援

- 消火器購入あっせん

→詳細は37ページへ

5. 火災発生の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のための感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



6. 非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにある物の活用を考えておく。



区の支援

- 防災用品あっせん

→詳細は36ページへ

確かな行動の備え

7. 家族で話し合っておこう

- 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離ればなれになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段の付き合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



8. 地域の危険性を把握しておこう

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。



→地域危険度は49ページへ

9. 防災知識を身に付けておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身に付けておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



10. 防災行動力を高めておこう

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。

区の支援

- 地区総合防災訓練
- 区内一斉防災訓練
- その他の防災訓練

→詳細は37ページへ



高層住宅の被害と対策

- 長く大きな揺れにより、家具類が転倒・落下・移動する危険がある。

→家具転倒防止

→家具転倒防止器具取付助成は36ページへ

- エレベーターやライフライン停止で高層階の住民が孤立する可能性がある。

→食糧・水・簡易トイレなど多め(7日分)に備蓄

→防災用品あっせんは36ページへ

チョット! 防災! 災害伝言サービス

災害時、あなたの無事や家族の安否を確認するため、各携帯電話会社による災害伝言サービスの使い方を家族で確認しておきましょう。



ご利用方法

〈NTT東日本 災害用伝言ダイヤルの例〉

伝言の録音方法

171 にダイヤル

↓ガイダンスが流れます

録音の場合 1

↓ガイダンスが流れます

(XXX)XXX-XXXX

伝言の再生方法

171 にダイヤル

↓ガイダンスが流れます

再生の場合 2

↓ガイダンスが流れます

(XXX)XXX-XXXX